

発見・再発見・しが

滋賀+1

プラスワン

5・6月号

平成25年(2013年) Vol.143

平成25年度当初予算

県民のみなさんの声を大きく咲かせる滋賀

未来戦略プロジェクト

誰もが幸せに暮らせる「住み心地日本一の滋賀」

中小企業の活性化

中小企業の元気が滋賀の元気になる!!



鍋冠祭
(米原市)5月3日(金・祝)



滋賀が素敵に見えてくる



日野祭
(日野町) 5月2日(木)・3日(金・祝)



東近江大凾まつり
(東近江市)5月26日(日)



母なる湖・琵琶湖。—あずかっているのは、滋賀県です。

歌手・作曲家
世武 裕子さん

滋賀県草津市出身。
幼い頃からクラシックや民俗音楽などを聴き、小学生の時、映画音楽作曲家を目指すようになる。2002年渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院で、映画音楽の作曲を学ぶ。帰国後の'08年、アルバム「おうちはどこ?」でデビュー。今年公開の国分太一、乙武洋匡主演の映画「だいじょうぶ3組」で音楽を担当。
公式サイト <http://sebuhiroko.com>



自分の中にある滋賀が、音楽に表れ、人に届く。

乙武洋匡氏のデビュー小説の映画化で、滋賀県内でもロケが行われた「だいじょうぶ3組」。その音楽を手掛ける草津市出身の音楽家、世武さんに故郷への思いをお聞きしました。

映画音楽の夢を実現

3月に公開された「だいじょうぶ3組」の音楽にたずさわるきっかけは、私の作品をプロデューサーが聴いてくださったことでした。ロケ地が滋賀だと後で知って、びっくりしました。県内で重要なシーンが撮影された時には、旧豊郷小学校の現場に足を運びました。

映画音楽の仕事は子どもの頃からの夢で、専門の勉強をするためにフランスに留学しました。今回夢がかなってとてもうれしく思いますし、偶然とはいえ、滋賀と関わりのある映画だったことも、とても励みになりました。

私の曲を聴いた方によく「滋賀っぽい」「湖のイメージ」と言われます。滋賀で育った私と、フランスで音楽を学んだ私、それをブレンドし

たのが現在の私で、滋賀とは切り離せない関係です。音楽は人間がそのまますから、私の中にある滋賀が、自然に音楽に表れているんですね。

自然体で暮らせる滋賀

留学や東京の生活を経て、滋賀のことを考える度に「滋賀ってすごいな」と思います。米、野菜、果物、川魚など、おいしい素材がたくさんあり、土地が豊か。自分の畑で作ったものをご近所同士が物々交換したり、フランスの文化に近いかも。琵琶湖は天気の良い日は向こう岸や山が見えるから、海ほど寂しくないのがまた良いんです。そして、作られたものではない自然のままの風景が、あちこちにあります。誰もが琵琶湖や自然を大切にされていて、うちの母も洗剤に気を遣うなど、みんなが環境を守ろうしてい

ます。他県より進んでいる意識を、これからも大切にしてほしいと思います。

そして滋賀気質というのか、自然体でみんなのんびりしているので、心が落ち着きます。がつがつしていないところも大好き。地道にがんばり、生活力の高い滋賀は、世の中の流れや価値観の変化の中で、気づきを生むかもしれません。自分も自然体で、そういう滋賀らしさを大切にしていきたいと思っています。

映画「だいじょうぶ3組」の世武さんのサイン入り音楽CD。
(P.10のほっとサロンをご覧ください)



人と木の共生

木をろくろで回転させて削り、
椀や盆を作る木地製法。

滋賀県の森林面積は琵琶湖の3倍、県土の約半分を占めています。雨は森の土で浄化され、120本の川となり湖に注ぎ、多くの恵みを与えてくれます。そして、木もまた家屋や家具、工芸品、船、仏具などとなり、近江の生活と、そこに息づく匠の技が文化形成の一翼を担っています。

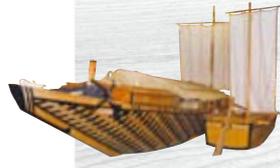


森が育む近江「匠」の技



上丹生の彫刻(米原市)
寺社仏閣といった大きなものから欄間や仏壇、美術工芸品まで多様な彫刻が受け継がれている。

朽木盆(高島市)
16弁の菊紋が特徴。盆だけでなく椀などもある。黒や朱の漆器が多く残されている。



丸子船(大津市・長浜市)
湖上交通、運輸、漁に活躍した木造船。江戸時代には1,300隻以上が運行していた。

高島扇骨(高島市)
安曇川流域の竹を使った扇の骨。今も国産扇骨の約90%を占める。



(公社)びわこビジターズビューロー

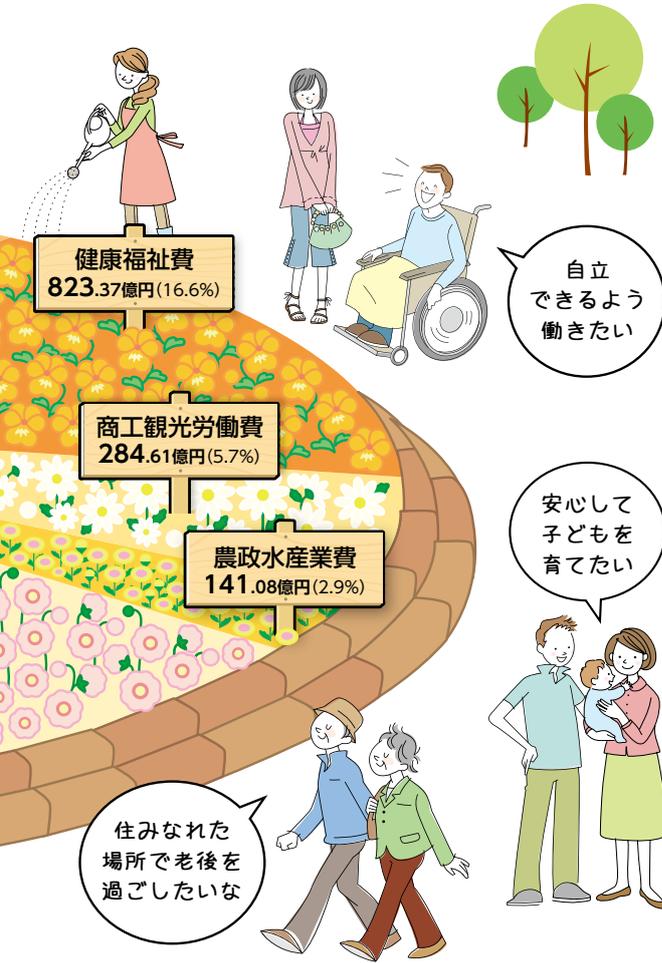
鈴木山麓の君ヶ畑・蛭谷(東近江市永源寺)は、木を削り椀や盆を作る「木地師」発祥の地として知られ、その活躍は東北地方にまでおよんだとされています。木地師の歴史は平安初期にさかのぼり、この地に幽棲した惟喬親王が、木を回転させて削る木地製法を発案したと言われています。他にも上丹生(米原市)の彫刻など豊かな森や木が、木地師を後押しし、木製品の発展に繋がりました。

また、大名から庶民にまで広く愛用された朽木盆や、湖上交通で活躍した大型船舶丸子船、今も国産扇骨の多くを占める高島扇骨など、滋賀の木と森は匠の技を育み、人の暮らしと共にあり続けています。

もくじ Contents

- 淡海へのラブレター 世武裕子さん(歌手・作曲家)..... 2
- しがの風ふわり(人と木の共生) 3
- 特集① 県民のみなさんの声を大きく咲かせる滋賀(平成25年度当初予算) 4-5
- 特集② 誰もが幸せに暮らせる「住み心地日本一の滋賀」(未来戦略プロジェクト) 6-7
- 特集③ 中小企業の元気が滋賀の元気になる!!(中小企業の活性化) 8-9
- 情報ひろば
(P.10 ほっとサロン/県の組織について) 10-14
- Feel the SHIGA 暮らしの中の宝もの(沖島) 15

【滋賀県の人口と世帯数】
平成25年3月1日現在(前月比)
■人口総数/1,416,581人(△99)
(外国人人口は92カ国
24,256人<平成24年12月現在>)
○男性/699,497人(△105)
○女性/717,084人(+6)
■世帯数/549,497世帯(+163)



健康福祉費
823.37億円(16.6%)

商工観光労働費
284.61億円(5.7%)

農政水産業費
141.08億円(2.9%)

住みなれた
場所で老後を
過ごしたいな

自立
できるよう
働きたい

安心して
子どもを
育てたい

平成25年度の当初予算は、2年ぶりに前年度を上回りました。県税収入の増加などを見込んでいますが、依然として厳しい財政状況から基金の取り崩しや県債の発行などで、必要な予算を確保しています。

滋賀県基本構想に掲げる8つの未来戦略プロジェクトを中心に、滋賀県独自の創意工夫を發揮し、県民のみなさんの視点に立った予算編成を行いました。



県民のみなさんの声を大きく咲かせる滋賀

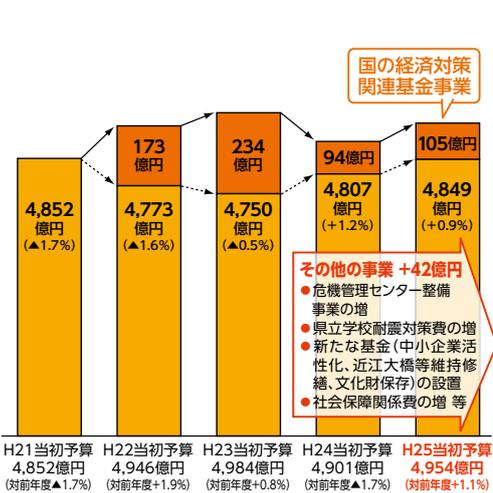
誰もが幸せに暮らせる「住み心地日本一の滋賀」を目指して

予算配分のポイント

みなさんの大切なお金は、「滋賀に住んで良かった」と言ってもらえる「住み心地日本一の滋賀」を目指し、基本構想に掲げる「未来戦略プロジェクト」(6〜9ページで詳しく紹介)を軸に配分しています。

特に、いじめ問題や学校の耐震対策などの「教育費」や、福祉、医療、子育て支援などの「健康福祉費」、また、中小企業の活性化や雇用確保などの「商工観光労働費」などに重点配分しています。

当初予算額の推移



滋賀県の今年度予算ができました! 平成25年度当初予算額

福祉や教育、社会資本整備など、県の基本的な事業を行うための会計

一般会計 4,954 億円
(対前年度当初予算比 53 億円増 +1.1%)

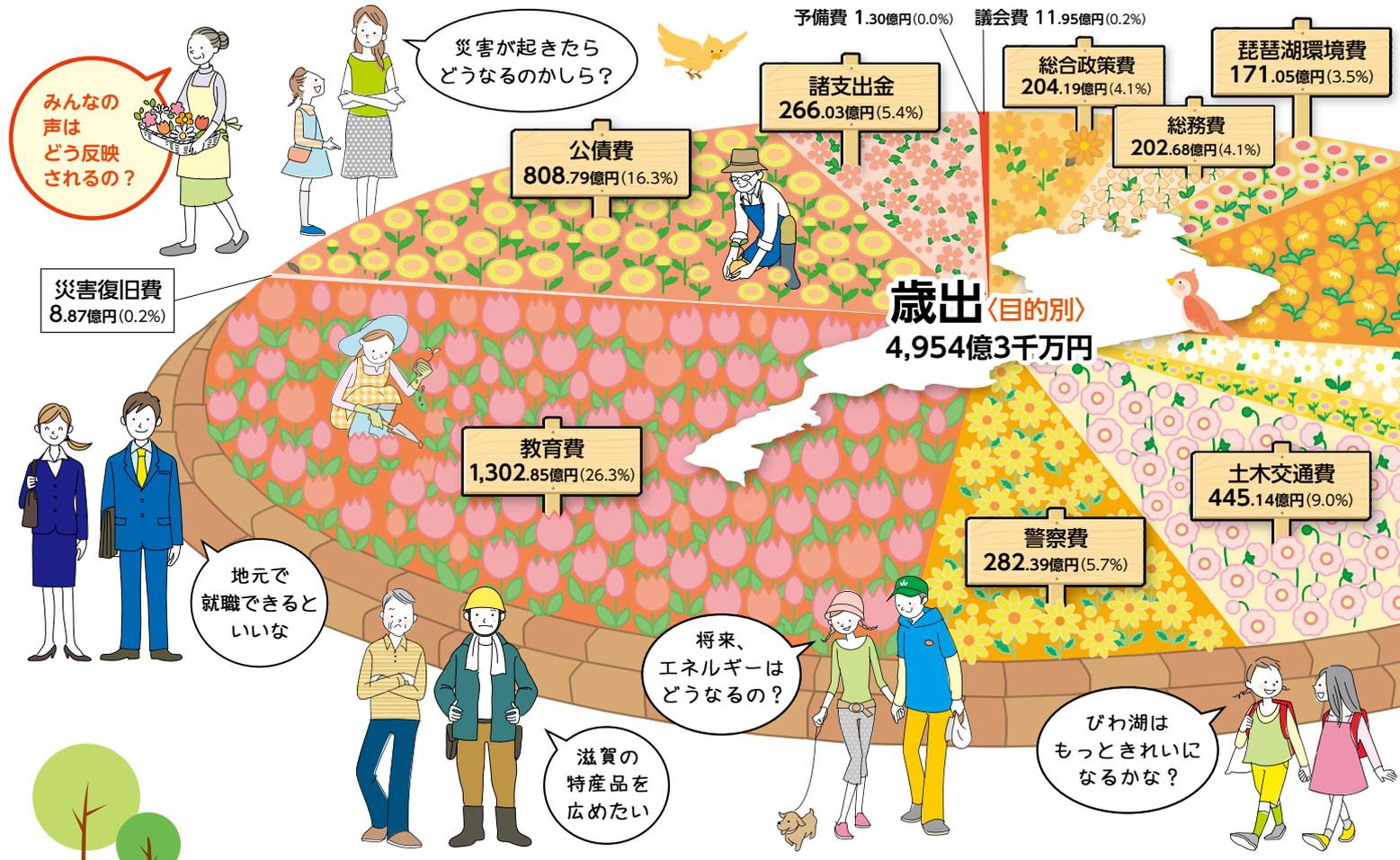
流域下水道事業や公営競技事業など、特定の事業を行うための会計

特別会計 2,102 億円
(対前年度当初予算比 35 億円増 +1.7%)

病院事業や水道用水供給事業など、民間企業のように独立して経営を行うための会計

企業会計 328 億円
(対前年度当初予算比 3 億円増 +0.9%)

※ 企業会計は収益的支出および資本的支出の合計を示しています。



みんなの
声は
どう反映
されるの？

災害が起きたら
どうなるのかしら？

地元で
就職できると
いいな

将来、
エネルギーは
どうなるの？

滋賀の
特産品を
広めたい

びわ湖は
もっときれいに
なるかな？

用語説明

- ◆ 扶助費 / 社会福祉を支えるための経費。生活保護費、乳幼児医療助成費など。
- ◆ 公債費 / 県債の返済に充てる費用。
- ◆ 義務的経費 / 人件費、扶助費、公債費の3つをいう。
- ◆ 地方交付税 / 国が自治体に配るお金。使い方は自由。
- ◆ 国庫支出金 / 使い方を決めて、国が自治体に配るお金。

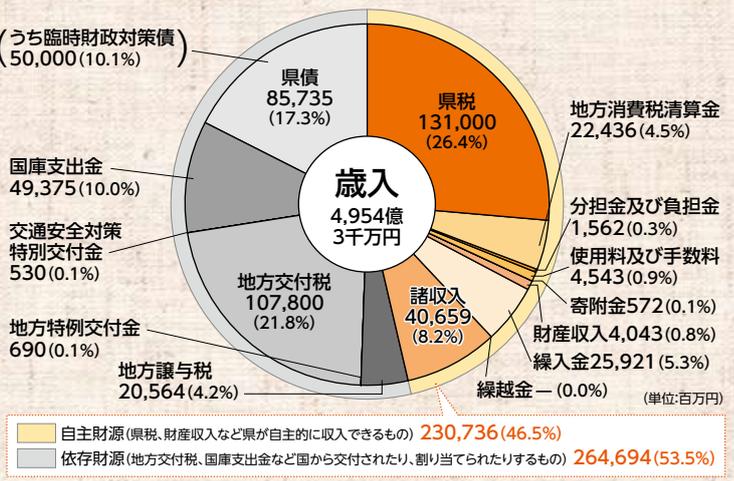
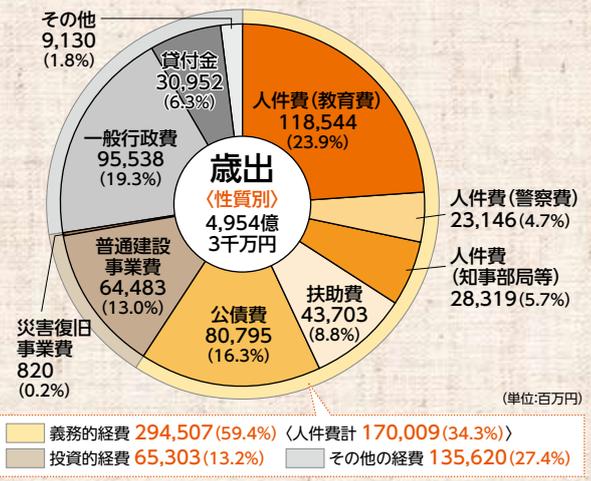
県では子ども、若者、高齢者、すべての方にとって「不安なく楽しく暮らせる滋賀」「人と自然がつながる美しい滋賀」「たくましく活力に満ちた滋賀」「安全・安心な滋賀」の実現を目指しています。県民のみなさんの声から生まれ、大きな花を咲かす施策を次のページで紹介いたします。

こんな花を咲かせます

県の収入には、個人県民税や法人二税などの県税や、地方交付税・国庫支出金など国から交付・割り当てがされるもの、また県の借金である県債などがあります。県債残高は、年々増加していますが、地方交付税に代わり県が発行している県債（臨時財政対策債）を除いた県債残高は年々減少しています。（4ページ右下グラフ参照）

予算を支えるお金(歳入)

一般会計歳入・歳出の状況



誰もが幸せに暮らせる 「住み心地日本」の滋賀

滋賀が持つ「人の力」、「自然の力」

「地と知の力」を最大限に発揮し、県民の誰もが幸せに暮らせる「住み心地日本」の滋賀」を目指し、8つの「未来戦略プロジェクト」を進めます。その中で、いじめ問題や東日本大震災等を契機とした課題への取組も行います。

の実現に向けたプロジェクト

不安なく楽しく暮らせる滋賀

3 地域を支える医療福祉・在宅看取り 18.9億円

- 地域医療を担う医師・医療専門職を育成します。
- 県民の健康づくりや疾病の早期発見・早期治療を支援します。
- 医療と福祉が連携し、在宅で療養できる体制の整備や地域でのかかりつけ医を確保します。

1 子育て・子育て応援 11.9億円

- 生まれる前・生まれる時の医療と医療人材を充実します。
- 自然や文化・芸術についての子どもの体験を量的・質的に充実します。
- 魅力と活力ある県立学校づくりを進めます。

4 低炭素社会実現 6.6億円

- 公共交通機関や自転車によるエコ交通の促進と、エコカーへの転換を進めます。
- 住宅への再生可能エネルギーの導入など、低炭素社会を実現するまちづくりを促進します。
- 経済界と協働して行う地球温暖化対策や中小企業のCO₂排出削減への支援などを行います。

2 働く場への橋架け 30.3億円

- 子どもの多様な職業教育を進めます。
- 若者の就職支援と、失業者や離職者への職業訓練を充実します。
- 女性の就職や社会活動の継続・復帰を応援します。
- 障害のある人の働く場等を充実します。

なるほど、みんなの声は8つのプロジェクトに活かされているのね

滋賀の未来を担う子どもの命を守る

県、市町、学校、地域・家族等が連携し、いじめや虐待、通学路の危険から子どもたちを守る環境づくり、仕組みづくりを強化します。

■25年度の主な施策

いじめ問題対応専門員配置事業 4,190万円

各地域に15人の専門員を配置し、第三者的な立場から、子どもの目線に立ち、関係を調整していじめ事案を解決に導きます。

地域住民と連携したいじめ対応支援事業 918万円

地域と学校との連携体制を構築し、いじめの早期発見・早期対応・抑止力の醸成を図るための環境を整備します。

子ども・子育て応援センター強化事業 782万円

子ども本人や保護者が抱えている悩み、不安について気軽に相談できるよう、回線の増設などセンターの電話相談体制を充実させます。

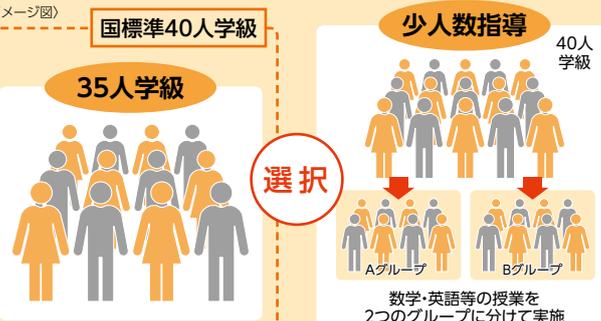
ハイスクールカンファレンスしが 15万円

県内の高校生が集まり、学年や学級、生徒会活動、部活動等で主体的、創造的、協同的に取り組んだ成果を発表し交流する場をつくります。

中学校で35人学級の実施

新たに中学校2・3年生にひろげ、県独自に中学校全学年で少人数指導との選択制のもとで35人学級を実施できることとしました。

(イメージ図)





「住み心地日本一の滋賀」 8つの未来戦略



私たちが働く
中小企業のための
施策は次のページで…。

たくましく活気に満ちた滋賀

7 地域の魅力
まるごと産業化
7.0 億円



- 滋賀の食のブランド力を向上させるとともに、地産地消を進め、消費拡大を図ります。
- 滋賀の自然や歴史・文化の魅力を発信し、滋賀ならではのツーリズムを推進するとともに、滞在型をはじめとした魅力ある観光を展開します。

6 滋賀の未来
成長産業
14.6 億円



- 新たな分野への挑戦を進めるとともに、県内企業のグローバル化を支援します。
- 医療、福祉・介護、子育ての分野でのサービス拡大や創業を支援します。
- 産学官金民連携や地域間連携を進めるとともに、成長戦略の拠点を形成します。

安全・安心な滋賀

8 みんなで命と暮らし
を守る安全・安心
59.7 億円



- 県の危機管理機能を強化するとともに、自助・共助による地域防災の組織力の向上を進めます。
- 重層的な防犯ネットワークづくりや交通安全対策を進めます。
- 適正な河川管理と市町との協働による流域治水を進めます。

人と自然がつながる美しい滋賀

5 琵琶湖の再生
12.0 億円



- 琵琶湖の在来魚を増やし、漁獲量を拡大します。
- 水質汚濁メカニズムの解明など、琵琶湖流域の水環境・生態系の保全・再生を進めます。
- 環境保全活動を支援し、人の暮らしと琵琶湖の関わりの再生を進めます。

不安を安心に変える災害への備え

地震や風水害、感染症やテロなどの発生に備え、危機管理機能、地域防災力を高めます。また原子力災害から安全・安心を確保するため、原子力防災を強化します。

■25年度の主な施策

危機管理センター整備事業 19億7,251万円

さまざまな危機事案への対応と地域防災力の向上のための拠点施設として危機管理センターを整備。あわせて、防災行政無線と防災情報システムも更新します。

原子力防災対策強化事業 2,124万円

広域避難や事後対策等の検討を行うとともに、県民への知識の普及と計画の実効性向上のため、意識調査や防災訓練を行います。

耐震対策費(県立学校) 26億6,519万円

旧基準により建築された学校施設について、耐震診断結果に基づき、順次耐震化工事を行います。

災害時等における救出救助能力の向上(警察本部) 8,770万円

警察署、交番、駐在所に対し、装備資機材を整備するほか、救出救助用RV車両、事故処理車両を整備します。

再生可能エネルギーの戦略的な振興

「滋賀県再生可能エネルギー振興戦略プラン(H25.3策定)」に基づき、地域主導による「地産地消型」「自立分散型」エネルギー社会の創造に向けて取り組みを進めます。

■25年度の主な施策

事業用再生可能エネルギー等導入促進事業 2,000万円

中小企業等による再生可能エネルギー設備等の導入を支援します。

個人用既築住宅太陽光発電システム設置推進事業 7,590万円

家庭における太陽光発電システムの導入を支援します。

再生可能エネルギー創出地域連携化支援事業 317万円

さまざまな主体で構成する地域協議会による事業化の検討を支援します。

県営農村地域再生可能エネルギー施設整備事業 1,802万円

農業水利施設を活用した小水力発電の設計や施設整備を行います。

農村の「近いエネルギー」活用推進事業 480万円

住民主体の、農業水利施設を活用した再生可能エネルギーの地産地消を支援します。

みなさんの「責務」と「役割」

責務

を活性化する
策定・実施。
者、国、市町
、情報提供、
どを行う。

企業者の努力

や社会の変化に対応し、
の向上・改善に努める。
の経済・社会に
するよう努める。

役割

のみなさん
企業活性化に
心を持ち、
企業の商品や
サービスを購入する
よう努める。

やくわり

役割

大企業

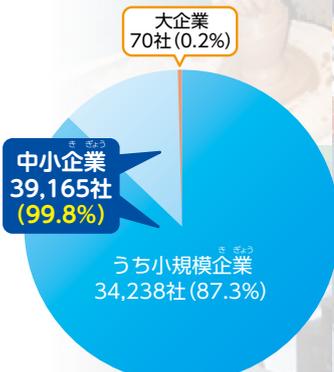
中小企業との
取引の拡充、
研究開発の支援など
を行うよう努める。

役割

金融機関

資金需要への
対応、経営改善への
支援などを
行うよう努める。

滋賀県における企業数
39,235社



資料：中小企業白書2012年度版
(平成21年経済センサス基礎調査)に基づく

滋賀県では中小企業の数が、県内企業全体の99%以上を占めています。つまり、中小企業の活力が滋賀県の活力の源と言えます。滋賀県全体が元気になれるように、滋賀県では中小企業を応援する条例を制定し、それに基づいた施策を進めていきます。

平成25年4月1日

「滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例」が施行されました。

中小企業の元気が

滋賀の元気になる!!

中小企業は滋賀の主役

滋賀の経済や社会が持続的に繁栄していくために、中小企業の発展は不可欠です。滋賀県の中小企業には、国内はもちろんのこと、海外においても評価される技術力やサービス力を持った企業が多くあります。しかしながら、販売や販路、人材確保や人材教育、資金確保などに課題を持っている企業は少なくありません。

そのことから、本年4月1日、中小企業を地域の経済や社会の主役と捉え、県はもちろんのこと、大企業や金

中小企業とは、おおむね以下のような会社、個人をいいます。
(中小企業基本法第2条)

業種	中小企業		うち小規模企業
	資本金	従業員	
製造業その他	資本金 3億円以下	従業員300人以下	従業員20人以下
卸売業	資本金 1億円以下	従業員100人以下	
サービス業	資本金5千万円以下	従業員100人以下	従業員 5人以下
小売業	資本金5千万円以下	従業員 50人以下	

条例に基づく施策で バックアップ!!

中小企業活性化推進基金の造成

条例に基づく中小企業の活性化に関する施策を集中的に推進していくために、「中小企業活性化推進基金」を設置しました。

基金造成額
約**3.5億円**

条例に基づく25年度の主な施策

中小企業の海外展開の総合的な支援 **2,279万円**



中小企業人材育成支援事業 **402万円**



商店街空き店舗マッチング支援事業 **180万円**

滋賀のくすり機器整備補助事業 **300万円**

建設産業の活性化推進検討事業 **358万円**



滋賀県全体で 中小企業を元気に!!

(公財)滋賀県産業支援プラザ 西岡 孝幸さん
事務局長

滋賀では昔から大手企業を支える形で産業が発達し、中小企業が滋賀経済の中心的役割を果たしています。しかし、廃業率が開業率を上回る状況が続いていること、リーマンショック以降は産業構造の変化とともに受注が減少し、厳しい状況が続いています。中小企業に元気がないと、雇用が減少し、経済活動も縮小されて、滋賀全体が元気を失います。だからこそ、産官学金、そして県民、地域が一体となり対応しなければいけません。また企業側も条例の制定をきっかけとし、自主的に自らの強みによって、新たなニーズに応える必要があります。滋賀には、豊かな自然と確かなものづくりの歴史があり、良いものをつくっている企業がたくさんあります。県民の皆さんはそんな地元の良いものをもっと知っていたら、地元の商品を使うことで中小企業を応援してください。

中小企業を応援する

責務
中小企業を
施策を、
中小企業
等と連携し
支援な

役割
中小企業関係団体
中小企業活性化のために、積極的に支援、協力するよう努める。

役割
大学その他の教育研究機関
研究開発、新事業の創出、人材育成の支援などを行うよう努める。

中小
●経済
経営
●地域
貢献

県民の
中小
関
中小
サービ
よ



融機関、中小企業関係団体、大学や教育研究機関、そして県民の皆さんの「責務」と「役割」を明確にするなどした「滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例」を施行しました。

そこで、条例に基づく施策を集中的に進めていくための基金を造成し、積極的に施策を展開するための予算を配分しました。中小企業が、未来に向けて果敢に事業活動を展開し、強みや可能性を伸ばしながら地域でいきいきと活躍できる滋賀を目指します。

平成 25 年度の県の組織について

基本構想の重点テーマに関係部局が連携しながら取組を推進し、さらにいじめ問題や東日本大震災等を契機とした課題に対応するとともに行財政改革方針の取組を進めるため、以下のとおり新年度の組織を整備しました。

お知らせ

しが金融ホットライン開設中

中小企業の皆様から、資金繰りの相談をお受けし、開業資金や設備投資のための資金など県制度融資の情報提供を行うとともに、県内の貸金業者に関する苦情や相談をお受けする窓口を設置しています。

●名称:しが金融ホットライン

(県庁中小企業支援課内)

●受付時間:平日8時30分～17時15分

問 県庁中小企業支援課

TEL 077-528-3732 FAX 077-528-4871

西部県税事務所高島納税課の移転

県税と市税の滞納額の縮減をより一層進めるため、県と高島市の職員が共同で徴収業務に取り組めるよう、平成25年8月1日から西部県税事務所高島納税課を高島市役所(高島市新旭町北畑565番地)に移転します。

移転後は、県税の徴収事務に加えて、法人事業税等の申告受付、軽油引取税に係る免税証や県税納税証明書等の交付事務などは、高島市役所内で行うこととなります。なお、狩猟税納税証紙の販売は、これまでどおり高島合同庁舎内で行います。

問 県庁税政課

TEL 077-528-3226 FAX 077-528-4819

(1) 滋賀の未来を担う子どもの命を守るための体制の充実

いじめから子どもを守る環境づくりを進めていくため、学校教育課に**生徒指導・いじめ対策支援室**を設置しました。また、児童虐待予防対策を充実強化するため、**子ども家庭相談センター(中央および彦根)**に警察官各1名を配置しました。

(2) 防災危機管理機能を強化し、災害に備える体制の充実

○防災危機管理局に
地震・危機管理室
原子力防災室
危機管理センター整備室を設置

(3) 中小企業を活性化する施策の推進体制

○**中小企業支援課**の設置
○新産業振興課を**モノづくり振興課**に改称

(4) 教育委員会事務局の再編

○**学校支援課**の設置
○教職員課に**健康福祉室**を設置
○学校教育課に
生徒指導・いじめ対策支援室(再掲)
全国高等学校総合文化祭推進室を設置
○スポーツ健康課に**国体準備室**を設置

(5) 障害者の相談機能の強化・ワンストップ化

県内に点在している相談窓口を集約化した**(仮称)障害者医療福祉相談モール**を設置し、高い専門性でワンストップによる対応を行います。(7月1日開設予定)
また、福祉用具や補装具の利用に関する相談についても、ワンストップによる相談体制**(仮称)福祉用具相談プラザ**を整備します。(6月1日開設予定)

その他の組織整備

(1) 知事部局

【総務部】

○財政課に**債権回収特別対策室**を設置
○自治振興課を**市町振興課**に改称
○滋賀県と高島市との税務事務の共同化(左記お知らせを参照)

【琵琶湖環境部】

○流域下水道維持管理業務の直営化(下水道公社の廃止)

【健康福祉部】

○精神保健福祉センターに**自殺予防情報センター**を設置

【農政水産部】

○農業経営課に**地域農業戦略室**を設置

【土木交通部】

○道路課に**高速・幹線道路推進室**を設置

(2) 病院事業庁

○成人病センターに**疾病・介護予防推進室**を設置

問 県庁人事課 TEL 077-528-3150 FAX 077-528-4815

【新番組】県政広報番組「Inter Shiga」スタート!

県内在住の外国人の方向けに、地域の催しなどの県内の話題や暮らしに密着した生活情報をポルトガル語でお届けします。(日本語の字幕あり)



キャスター: 山岡夕子さん

●**放送日時:**びわ湖放送 隔週木曜日 20時55分～21時(再放送=本放送の翌週木曜日20時55分～21時)

その他の番組も放送中!

○【県政週刊プラスワン】

びわ湖放送 土曜日 21時00分～21時20分(再放送 日曜日 8時30分～8時50分)

○【手話タイム・プラスワン】

びわ湖放送 隔週土曜日 21時20分～21時30分

○【滋賀プラスワンインフォメーション】

エフエム滋賀(77.0MHz) 金曜日 17時20分～17時25分

問 県庁広報課

TEL 077-528-3041 FAX 077-528-4803

ほっとサロ

「滋賀プラスワン」

5・6月号へのご意見・ご感想をお寄せいただいた方の中から抽選でプレゼントします!



1 世武裕子さん サイン入りCD

2ページの「淡海へのラブレター」にご登場いただいた世武裕子さんのサイン入りCD(映画「だいたいぶ3組」サウンドトラック)をプレゼント。

2名様

2 ミシガンクルーズ ペア 乗船券



初夏の琵琶湖をクルーズ。ランチ付きの乗船券です。

3組6名様

3 近江牛焼肉用(300g)



甘くてジューシーな近江牛のロースを焼肉でご堪能ください。

3名様

4 あいとろメロン



とろけるような舌ざわり、豊かな甘さが特徴の温室メロンです。

10名様

5 うおーたんエコバッグ



滋賀県内でレジ袋削減の取組が進んでいます。お買い物にはエコバッグをお持ちください。

*写真はイメージです。

応募方法

はがきの場合は下記の内容を記入してください。県ホームページまたは滋賀モバイル県庁(携帯電話用ホームページ、右記二次元バーコード)の「しがネット受付」からも応募できます。

お寄せいただいたご感想を「滋賀プラスワン」誌などに紹介させていただきます。



520-8577
5月6日
ほっとサロ
係

・5・6月号の感想
・希望のプレゼント番号(1つ)
・郵便番号・住所
・氏名・年齢
・電話番号
・匿名希望の有無

しめきりは 5月21日(火)消印有効

個人情報の取り扱いについては「滋賀県個人情報保護条例」に基づき、適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供しますのであらかじめご了承ください。3・4月号のプレゼントには1,332通の応募をいただき、2名の方に「高橋メアリージュンさんサイン入り写真」、3名の方に「耐ずし」、3組6名の方に「近江牛焼肉用お食事券」、3組6名の方に「びわ湖ホールペア鑑賞券」、5名の方に「ジャム詰め合わせ」、30名の方に「ヨシからできたノート」が当たりました。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

わくわく探検隊 隊員大募集!!

次号7・8月号の「わくわく探検隊」に参加して、うおーたんといっしょに探検してくれる県内の小学生(5年生から6年生)を募集します(応募者多数の場合は抽選)。

【応募方法】はがきに「わくわく探検隊参加希望」と明記の上、このコーナーについての感想、ご自身の氏名、学年、性別、保護者の氏名、住所、電話番号を記入して県庁広報課(子どもプラスワンわくわく探検隊募集)係まで。【しめきり】5月17日(金)(消印有効)



情報ひろば

マザーレイク滋賀応援寄付受付中!
琵琶湖の自然や歴史・文化的資産を次世代に引き継ぎ活かしていくために、滋賀ファンのみなさまからの応援(寄附)をお待ちしています。
県庁企画調整課 TEL 077-528-3313 FAX 077-528-4830
HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/ouen/>

小・中学生、障害のある方、県内在住の65歳以上の方は、安土城考古博物館、琵琶湖博物館(常設展のみ)、近代美術館(常設展のみ)、陶芸の森、醒養養鱒場への入場は無料です。平成23年4月1日から、障害のある方は、近代美術館、琵琶湖博物館の企画展示についても入場が無料になりました。

募集

全国戦没者追悼式への参列者募集

8月15日(木)に日本武道館で開催予定の全国戦没者追悼式に参列されるご遺族の方を募集します。

- 日時: 8月14日(水)~15日(木)
- 会場: 日本武道館(東京都千代田区)
- 対象: 戦没者(原爆、一般戦災死没者を含む)の原則として配偶者、子、父母、兄弟姉妹、孫(原則1柱1回限り)で、8月14日(水)~15日(木)の1泊2日の団体行動ができる方

- 定員: 50名 ※応募多数の場合は抽選
- 申込方法: はがき(①郵便番号、住所、氏名、生年月日、性別、戦没者との続柄、電話番号②戦没者の氏名、本籍都道府県名、陸・海軍の別を記入)

- しめきり: 5月31日(金) 消印有効
 - 参加費: 5,000円程度
- 問 県庁健康福祉政策課
TEL 077-528-3514 FAX 077-528-4850

「ココクール マザーレイク・セレクション2013」の募集

滋賀らしい素材や地域資源を活かし、心の豊かさや上質な暮らしぶりといった「滋賀独自の価値観」を伝える商品・サービスを募集し、その中から、「ココクール マザーレイク・セレクション2013」を選定します。

- 募集期間: 5月16日(木)~7月16日(火)
- 申込方法: ホームページより/募集チラシ裏面の推薦様式を郵送・FAX

問 県庁商工政策課
TEL 077-528-3715 FAX 077-528-4870
HP <http://www.shigaplaza.or.jp/selection/>

滋賀県平和祈念館ボランティア募集

平和祈念館の活動に参加いただけるボランティアを募集しています。

※登録にあたっては、ボランティア登録講座を受講していただく必要があります。

- 応募条件:
 - ・ボランティア登録講座を受講されること。
 - ・滋賀県平和祈念館の考え方に賛同し、協働で活動に取り組む意思をもっていらっしゃる方であること。
 - ・住所や年齢による制限はありません。ただし、18歳未満の方は保護者の同意が必要です。

- 応募方法: 封筒/はがき/FAX/Eメール/持参

- 備考: 県から交通費や食費、賃金などの支給はありません。

●定員なし
問 滋賀県平和祈念館
TEL 0749-46-0300 FAX 0749-46-0350
e heiwa@pref.shiga.lg.jp

試験

滋賀県職員採用上級試験

- 日時: 6月30日(日)
- 会場: 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市野路東1-1-1)

- 受験資格: ア: 昭和54年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた者 イ: 平成4年4月2日以降に生まれた者①学校教育法に基づく大学(短期大学を除く。以下「大学」という。)を卒業した者または平成26年3月31日までに大学を卒業する見込みの者②滋賀県人事委員会が①に掲げる者と同等の資格があると認める者

- 申込方法: 郵送/しがネット受付サービス/持参

- 受付期間: 5月20日(月)~6月7日(金)
※詳細は、5月20日に配布開始予定の受験案内または県のホームページでご確認ください。

問 県人事委員会事務局
TEL 077-528-4454 FAX 077-528-4970

平成25年滋賀県保育士試験

- 日時: 筆記試験: 8月10日(土)、11日(日)
実技試験: 10月20日(日)

- 会場: 筆記/立命館大学びわこ・くさつキャンパス、実技/滋賀短期大学
- 受験資格: 短期大学卒業程度

- 願書配布: インターネット/封筒(インターネット: 5月8日までに下記URLより/郵送: 封筒に「手引き請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号切手不要、宛先を明記)を同封して下記まで。

- しめきり: 5月15日(水)(消印有効・簡易書留に限る)
- 手数料: 12,900円

問 (一社)全国保育士養成協議会
保育士試験事務センター
(〒171-8536東京都豊島区高田3-19-10)
TEL 0120-4194-82(平日10時~18時)
HP <http://www.hoyokyo.or.jp/>

登録販売者試験

- 日時: 8月25日(日) 10時~15時
- 会場: 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市野路東1-1-1)

- 申込方法: 郵送/持参
- しめきり: 6月12日(水)
- 受験費用: 13,000円

※受験資格については下記までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

問 県庁医務薬務課
TEL 077-528-3634 FAX 077-528-4863
HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/e/imuyakumu>

お知らせ

「こどもの日」県立施設無料開放!

- 日時: 5月5日(日・祝)
- 対象施設: 近代美術館*、琵琶湖博物館*、醒養養鱒場、陶芸の森陶芸館、安土城考古博物館*
- ※は常設展の入場料のみ無料となります。
- 対象: 県内に在住する18歳未満のお子さまと同伴の保護者の方
- ※滋賀プラスワンまたは免許証・保険証などにより県内に住んでいることが確認できるものをご持参ください。

問 県庁子ども・青少年局
TEL 077-528-3557 FAX 077-528-4854

自動車税の納期限は5月31日です

自動車税は必ず納期限の5月31日(金)までに納めましょう。各金融機関のほか、各(県)税事務所、納税通知書裏面に記載のコンビニエンスストア各店舗で納税できます。なお、納税通知書についている「納税証明書」は車検時の手続きに必要となりますので、車検証と一緒に大切に保管してください。また転居されたときは、住所変更手続きが必要ですので、注意してください。

問 自動車税事務所(自動車税および住所変更手続き)
TEL 077-585-7288

問 近畿運輸局滋賀運輸支局(車検証の住所変更手続き)
TEL 050-5540-2064

※音声案内に従い「026」とダイヤル

滋賀県警からのお知らせ

①行楽期の事故等にご注意ください

行楽行事の多いこの時期は、長距離運転による交通事故や山菜採りや登山による山岳遭難、琵琶湖でのプレジャーボート等の水難事故が多発します。

また、ちょっとした油断やルールを守らなかったことから事故につながることがあります。

事前の準備や計画をきちんと行い、楽しい休暇をお過ごしください。

②防災意識の高揚

~梅雨・台風シーズンに備えて~

警察では、出水期に備えて災害対応訓練や、救助用資機材の整備等を行っています。皆様も、自宅周辺の河川増水や山崖崩れ等の危険箇所を確認したり、防災グッズを準備する等して、災害時の行動をイメージしておきましょう。

問 滋賀県警察本部総務課
TEL 077-522-1231





催し・講座

大工さんに挑戦

大工さんの道具を使い、木工を通して木に親しみます。



●日時／内容：

- ① 6月9日(日) / 木のパズル作り
- ② 6月23日(日) / 木の小物入れ作り
- ③ 7月7日(日) / 木の貯金箱作り

●会場：近江富士花緑公園ウッドルーム

●対象：小学生以上 ※小中学生は保護者同伴(同伴者1名につき100円が必要)

●定員：各回15人(先着順)

●申込方法：電話／FAX／その他

●しめきり：1週間前の17時まで

●参加費：①300円／②500円／③700円

問 近江富士花緑公園(野洲市三上519)

TEL 077-586-1930 FAX 077-586-4084



淡海生涯カレッジ受講生募集



環境、健康、文化やバイオテクノロジーをテーマに、地域の公民館等での日常的な学習、高等学校等での体験的な学習、大学等での専門的な学習を組み合わせ、地域を一つのキャンパスとした学習の機会です。

●日時：6月15日(土)開講

●会場：大津市・草津市・湖南市・彦根市・長浜市

●対象：18歳以上の通学可能な方

●定員：各校30人

●申込方法：はがき／電話／FAX／Eメール／持参で各校実行委員会まで

●しめきり：5月31日(金)

●受講料：5,000円

問 県庁生涯学習課

TEL 077-528-4652 FAX 077-528-4962

淡海子育てマイスター養成セミナー



子育てに関する知識やスキルを習得して、地域での子育て支援活動に活かしていただくことを目的にセミナーを開講します。

●日時：6月19日(水)9時30分～開講式

●会場：コラボしが21他大津市内の会場

●内容：全9講座。「子どもの発達」「子どもの病気とけが」「子どもにとっての遊び」「発達障害について学ぶ」など。関心のあるセミナーを1単位から選んで受講することも可能です。詳細はお問い合わせください。

●対象：県内で子育て支援活動を行っている方、子育て支援活動に関心のある方

●定員：講座ごとに定員あり(先着順)

●申込方法：封筒／FAX

●しめきり：6月5日(水)必着

問 県庁子ども・青少年局

TEL 077-528-3557 FAX 077-528-4854

みんなで作る未来への道

県政にご参加ください!

人権施策推進審議会委員の募集

●任期：平成25年7月30日(火)から2年間

●募集人数：2人以内

●応募資格：県内にお住まいの方または県内に通勤、通学している方。

(国・地方公共団体の議員、常勤の公務員および県が設置している他の審議会等の委員を嘱託されている方は応募できません。)

●応募方法：所定の応募書に必要事項を記入の上、1,000字程度の意見書(様式自由)を添えて、郵送、FAX、Eメールのいずれかで提出してください。

※ 応募書と意見書はお返ししませんのでご了承ください。

●意見書のテーマ：滋賀県における人権が尊重される社会づくりについての提案や意見等

●しめきり：6月3日(月)(必着)

問 県庁人権施策推進課

TEL 077-528-3533

FAX 077-528-4852

e cf00@pref.shiga.lg.jp

関西元氣文化圏推進フォーラム「狂言再発見-おもしろさとむつかしさ」



●日時：6月22日(土)13時30分～16時

●会場：大津市伝統芸能会館

(大津市園城寺町246-24)

●内容：・狂言「悪坊」茂山逸平(大蔵流茂山千五郎家)ほか

・基調講演／小林貞(狂言研究者、武蔵野大学名誉教授)

・パネルディスカッション／小林貞、亀岡典子(産経新聞大阪本社文化部)、井上由理子(文筆家・白拍子舞)、茂山逸平、天野文雄(文化庁関西分室長)

●定員：200人(事前申込み)

●申込方法：はがき／FAX／Eメール

●参加費無料

問 県庁文化振興課

TEL 077-528-4630 FAX 077-528-4960

e ck00@pref.shiga.lg.jp

びわ湖ホールからのお知らせ

①歌劇「フィガロの結婚」



スイス・バーゼル歌劇場の初来日公演が実現。今回の「フィガロの結婚」は、現地で異例の3年連続公演を成し遂げた超人気のプロダクションです。

●日時：6月30日(日)15時～

●会場：びわ湖ホール 大ホール

●料金：S席25,000円、A席21,000円、B席18,000円、C席15,000円

(D、E席完売) ☆青少年割引当日券あり ※6歳未満のお子様はご入場いただけません。(有料託児サービスあり、6月23日(日)までに要予約)

②ワーグナー作曲「ワルキューレ」



ワーグナー生誕200年を記念して、重厚で壮麗な音楽に満ち溢れた「ワルキューレ」をお贈りします。

●日時：9月21日(土)・22日(日) 両日とも14時～

●会場：びわ湖ホール 大ホール

●料金：S席15,000円、A席12,000円、B席10,000円、C席8,000円、D席6,000円、E席4,000円、U30席(30歳以下)3,000円、U24席(24歳以下)2,000円 ☆青少年割引当日券あり

※6歳未満のお子様はご入場いただけません。(有料託児サービスあり、9月14日(土)までに要予約)

●託児料金：1,000円/人

●チケット発売、託児予約：

TEL 077-523-7136

チケットセンター10時～19時(休館：火曜日)

問 公益財団法人びわ湖ホール(大津市打出浜15-1)



募 集

テクノカレッジ短期課程7月生募集



滋賀県立高等技術専門学校(テクノカレッジ)平成25年度7月生を募集し、選考いたします。

●日時：6月7日(金)

●会場：テクノカレッジ米原(米原市岩脇411-1)テクノカレッジ草津(草津市青地町1093)

●募集訓練科：電気設備技術コース、電気機械技術コース、住宅リフォーム科(以上3コースは米原)、機械加工技術科(草津)

●対象：離職され公共職業安定所に求職申込みをされている方を対象

●定員：訓練科により10名～5名と異なります。テクノカレッジまでお問い合わせください。

●申込方法：各ハローワークまで

●しめきり：5月17日(金)

●受験料不要

問 テクノカレッジ米原 TEL 0749-52-5300

問 テクノカレッジ草津 TEL 077-564-3296



- 車いす対応
- 車いす対応エレベーター
- 車いす対応トイレ
- オストメイト対応トイレ
- おむつ替えシート
- 託児

- 授乳室
- 要約筆記
- 手話通訳
- 駐車場

情報ひろば

メールマガジン「メルマガしがMotherLake」にご登録ください!
 滋賀のできごとやイベント情報などをメールマガジンでお届けしています(月2回、購読無料)。旬の情報を写真や動画でお楽しみいただけるほか、読者プレゼントもご用意しています。ぜひご登録ください!



催し・講座

女性活躍推進フォーラム

●日時: 5月20日(月) 15時~17時
 ●会場: 県庁東館7階 大会議室
 ●内容: 基調講演 / 「女性の活躍は日本の希望」
 中央大学文学部教授 山田昌弘氏 対談 / 「女性の活躍で滋賀を元気に!」
 山田昌弘氏と滋賀県知事嘉田由紀子
 ●定員: 150人(先着順)
 ●参加費無料
 ●申込方法: FAX / 郵送 / 県男女共同参画課ホームページ
 問 県庁男女共同参画課
 TEL 077-528-3070 FAX 077-528-4807
 HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/>



「日本肝臓学会市民公開講座 ~肝臓がんにならないために~」

●日時: 5月26日(日) 13時~16時
 ●会場: RiseVille 都賀山 (守山市浮気町 300-24)
 ●内容: 肝臓がんの原因となる脂肪肝やウイルス性肝炎について県立成人病センターの医師が講演します。
 ※講演終了後、ご希望の方約30人を対象に、肝臓病についての個別健康相談コーナー(お一人約5分)を設けます。肝臓病について心配なことがあれば、専門の医師にご相談できます。
 ●定員: 150人(先着順)
 ●申込不要 ●参加費無料
 問 県庁健康長寿課
 TEL 077-528-3619 FAX 077-528-4857



ニゴロブナ(25627) ツアー びわ湖と魚のゆりかご水田を体感!

初夏のびわ湖を環境船「めぐみ」でクルージング。その後、魚のゆりかご水田の現場を見学し、ニゴロブナなどの魚つかみなどを体験! 美味しい「魚のゆりかご水田米」もいただきます。
 ●日時: 6月8日(土) 9時~17時
 ●会場: 大津港から出発、魚のゆりかご水田の現場等を見学
 ●定員: 50人(先着順)
 ●申込方法: 電話 / FAX / Eメール
 ●しめきり: 5月24日(金)
 ●参加費: 2,500円
 問 県庁農村振興課
 TEL 077-528-3963 FAX 077-528-4888



びわこ文化公園みどりのつどい

●日時: 5月4日(土・祝) 10時~15時
 ●会場: びわこ文化公園 (大津市瀬田南大萱町 1740-1)
 ●内容: 花苗・種やチップ堆肥の無料配布、園内をめぐるクイズラリー、ヨーヨー釣り、茶室夕照庵での茶会、東大津高校吹奏楽部の演奏など
 ●参加費: 茶会 100円 / ヨーヨー釣り 50円
 問 びわこ文化公園 公園管理事務所
 TEL 077-543-5831

※駐車場の数には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



②希望が丘を歩こう

●日時: 6月23日(日) 9時~15時 (8時30分から受付開始)
 ●会場: 希望が丘文化公園 青年の城 (蒲生郡竜王町薬師 1178)
 ●内容: A. ハイキングコース 10km(中級者コース) / 奥鳴谷峠~鏡山登山~雲冠寺跡~奥鳴谷溪谷
 B. ウォーキングコース 8km(初心者コース) / 源流コース~花の道~スイレン池
 ●対象: 小学生以上(小学生は保護者同伴)
 ●定員: 80人
 ●申込方法: 希望コース・住所・氏名・年齢・電話番号・FAX番号を明記のうえ、はがき/電話/FAX/Eメールにて
 ●申込期間: 5月23日(木)~6月20日(木)(先着順)
 ●参加費: 一人300円 ※駐車場ご利用の方は、別途駐車料金(普通車 500円)
 問 希望が丘文化公園
 TEL 077-588-3251 FAX 077-588-3252



釣り竿・エサ付き)、マス類の塩焼き・天ぷら等販売、魚すくい、木彫品販売・実演(若干内容を変更する場合があります)
 ※親子釣り体験のみ要申込
 ●定員: 25人x2回(先着順)
 ●申込方法: 電話
 ●申込期間: 当日まで
 ●参加費: 入場料大人 450円 / 高大 250円 / 当日一部の販売・体験イベントは有料

※当日は「家族ふれあいサンデー」ですので、入場口にて「スマイルカード」を提示いただくか、滋賀県に在住または通学・通園していることがわかるものを持参していただくことで親子・家族連れは無料で入場していただけます。
 問 醒井養鱒場(米原市上丹生)
 TEL 0749-54-0301 FAX 0749-54-0302



希望が丘文化公園からのお知らせ

①希望が丘新緑祭

●日時: 5月11日(土)・12日(日) 10時~15時
 ※雨天の場合は18日(土)・19日(日)に顺延
 ●会場: 希望が丘文化公園 スポーツゾーン (野洲市北桜 978)
 ●内容: ・大道芸
 ・昔の遊びが体験できる『子どもプロジェクト』
 ・キッズチアリーディングチーム ミルキーズによる『チアリーディング』(12日限定 12時~、13時~)



新緑ます祭り

●日時: 5月19日(日) 10時~15時
 ●内容: ○無料体験 / マス類の試食(塩焼き等)、スタンプラリー、ビンゴゲーム、研究紹介等
 ○有料体験 / 親子釣り体験(リリース制、



城郭探訪「観音寺城を歩く」

●日時: 6月16日(日) 10時~
 ●会場: 県立安土城考古博物館ほか (近江八幡市安土町下豊浦 6678)
 ●内容: 観音寺城跡を学芸員がご案内します。
 ●定員: 30人(先着順)
 ●申込方法: 電話 / FAX
 ●申込期間: 実施日の1ヶ月前から受付予定
 ●参加費: 有料
 問 県立安土城考古博物館
 TEL 0748-46-2424 FAX 0748-46-6140





会場に対応しているもの



催し・講座

保育士再就職研修会

保育士資格をお持ちの方で、現在、保育士として就業していない方に、最新の保育事情や実技を学んでいただき、保育職場への復帰を支援します。

●日時: 5月10日(金)・17日(金)・24日(金) 各日 13時～16時

●会場: 厚生会館(大津市京町四丁目3-28) 5月31日は大津市内園見学

●対象: 保育士資格をお持ちで、県内の保育施設への就職・再就職を希望される方

●定員: 20人(先着順)

●申込方法: 電話 / FAX

●しめきり: 5月8日(水)

●備考: 基本的には4回連続講座(4日目は保育園見学)ですが、いずれかの講座のみの受講も可能です。講座の詳細はHPをご覧ください。

問 一般社団法人 滋賀県保育協議会 (保育人材バンク)

TEL 077-516-9090 FAX 077-521-2117

HP <http://shiga-hoikukyo.jp>

障害者福祉センターからのお知らせ

①県障スポ大会に向けた練習会

●日時/内容: 5月12日(日) 10時～12時 / アーチェリー
13時30分～15時30分 / フライングディスク

●対象: 県内に在住し、身体障害者手帳を有する12歳以上の人、もしくは療育手帳を有するか、その取得に準ずる障害のある12歳以上(いずれも平成25年4月1日現在)の人。(アーチェリーは視覚障害・療育手帳保有者除く) 前項に規定するもののうち、「滋賀県障害者スポーツ大会競技種目および障害区分表」の障害区分に該当する人。
※指導員は、介助者としてつくことはできません。

●定員: アーチェリー / 15人(先着順) フライングディスク / 30人(先着順)

●しめきり: 当日まで受け付けます

②水泳介助者研修会

●日時: 5月21日(火)・29日(水) 13時30分～17時

●内容: 水中運動・リラクゼーション・水泳の介助および指導方法の基本を習得する。

●対象: 障害のある人の介助・指導にかかわる人

●定員: 30人(先着順)

●しめきり: 5月14日(火)

●参加費: 無料。ただし資料代が別途必要

③アクセサリーづくり (ジュエル・デコレ)教室

●日時: 6月16日(日) 10時～12時
 ●対象: 障害のある人とその介助者
 ●定員: 15人(先着順)
 ●募集期間: 5月18日(土)～6月2日(日)
 ●参加費: 無料。ただし教材費1,500円が必要

①～③はすべて

●会場: 県立障害者福祉センター (草津市笠山8-5-130)

●申込方法: 封筒 / FAX / 持参

問 県立障害者福祉センター

TEL 077-564-7327 FAX 077-564-7641



看護フェア 2013

「おもい愛」-看護の心を淡海から

●日時: 5月12日(日) 11時～16時
 ●会場: 栗東文化芸術会館さくら (栗東市継二丁目1-28)

●内容: 健康講座「生活習慣病: 糖尿病 ー 守りましょう!あなたのからだー」 カラーセラピー / 生活習慣病・栄養相談 / 育児相談 / プチナースに変身 / 高校生・社会人のための進学相談 / 看護職の就職相談

問 公益社団法人 滋賀県看護協会

TEL 077-564-9494



安土城考古博物館からのお知らせ

①春季特別展と記念講演会

【春季特別展】 「しのぎをけつり、つばをわり ー近江の城、信長とかく戦えりー」

●会期: 6月16日(日) まで

【記念講演会】

●日時 / テーマ: 5月12日(日) 13時30分～ 「信長を迎え討った近江勢の城」

講師: 村田修三氏 (大阪大学名誉教授) 5月19日(日) 13時30分～ 「小谷城と姉川の合戦」

講師: 太田浩司氏 (長浜城歴史博物館) 5月26日(日) 13時30分～ 「天下布武の城・岐阜城を探る」

講師: 高橋方紀氏 (岐阜市教育委員会) ●会場: 当館 セミナールーム

●定員: 140人(先着順) ●申込不要

●参加費: 5月12日(日) / 500円 5月19日(日)・26日(日) / 300円

②体験博物館「うつけ茶屋」

●日時: 6月2日(日) 13時～
 ●内容: 茶臼で抹茶をつくり、自ら挽いた抹茶を味わいます。
 ●定員: 30人(先着順) ●申込不要
 ●参加費: 300円

問 県立安土城考古博物館

(近江八幡市安土町下豊浦6678)

TEL 0748-46-2424 FAX 0748-46-6140



琵琶湖博物館からのお知らせ

①琵琶湖博物館《わくわく探検隊》

●日時/内容: 琵琶湖の模型をつくらう 5月25日(土) 13時30分～15時 プラスチック樹脂を使って、琵琶湖の模型を作ります。

●魚の解剖にチャレンジしよう 6月8日(土) 13時30分～15時 外来魚を解剖して、体のつくりや、何を食べているかを調べます。

●田んぼの不思議なエビたちを見てみよう! 6月22日(土) 13時30分～15時 田んぼの生きものを顕微鏡で観察して、そこにすむエビのペーパークラフトを作ります。

●対象: どなたでも(ただし小学4年生以下は保護者同伴)

●定員: 30人

●申込方法: 実習室2で当日受付 (13時～13時30分)

●参加費無料

②からすま半島の生きもの調査(魚と漁具)

●日時: 6月2日(日) 13時30分～15時30分

●内容: みんなで湖岸の魚を採集し、名前を調べて魚マップを作ります。

●対象: 小学生以上(ただし小学6年生以下は保護者同伴)

●定員: 30人

●申込方法: 往復はがき / Eメール (行事名・参加者全員の氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号・一言メッセージを記入)

●しめきり: 5月23日(木)

●参加費: 100円(保険料含む)

問 県立琵琶湖博物館(草津市下物町1091)

TEL 077-568-4811 FAX 077-568-4850

E event@lbm.go.jp





琵琶湖の天然うなぎ

肉厚で胸の辺りが黄色いことから「むなぎ」と呼ばれる沖島の夏のごちそう。



Feel the SHIGA 暮らしの中の宝もの

その時にしか出会えない。ガイドブックにも書かれていない。そこに泊まって初めて体験できる。そんないつもの暮らしの中にある滋賀の魅力(みりやく)を地元の語り部が発信します!

漁と共に生きる 日本で唯一、人が暮らす湖上の島

沖島

沖島は近江八幡の沖合1.5kmの場所。島全体が国定公園に指定されています。その歴史は800年以上前、平治の乱で破れた源氏の落武者が流れ着いたことが島の起りとして、湖上交通の要所として発展してきました。

島民300人程のこの島で車を見ることはありません。見かけるのは三輪自転車と手押し車。「島に車は持っていないけれど、舟は持っている」そう教えてくれたのは沖島漁業協同組合の森田さん。お母さんのつくる『つくつく団子』とともにやってきた

よそのコロッケ

おからとブラックバスの切り身を混ぜ合わせたコロッケ。滋賀B級グルメバトルにも出場。とてもヘルシー。



「夏の夜が過ごしやすいのはいいですよ。でも、こればかりは来た人にしかわからない」周囲が琵琶湖に囲まれているため、日没後はとても涼しくなること。

島の民宿に泊まって、暮らしの中にある沖島を体感するのもおすすめ。生活感に溢れている湖岸を民家と琵琶湖の距離の近さに驚きながら散策。島を縦断したその先にある、普段とは違う顔を見せる琵琶湖に、知らない滋賀の魅力を発見できるはずです。

ふれる 力を合わせて 『地引き網』体験!



【開催時期】5月後半～10月いっぱいまで

【費用】1網 ¥40,000(30～40人用)

沖に仕掛けられた網を浜から引き、地引き網の重さなど体感できるイベント。獲れた魚は持ち帰りできます。

詳しくはこちらまで 沖島漁協 TEL:0748-33-9511

沖島へのアクセス方法

- JR琵琶湖線 近江八幡駅** ▶ 堀切港 ▶ 沖島港
- バス又はタクシー ▶ 堀切港からは10分程度で着きます。

※各交通機関の詳細時刻については各交通機関HPまたは沖島HP (<http://www.biwako-okishima.com/>) をご確認ください。

伝える

漁師(近江八幡市沖島町) 沖島漁業協同組合 代表理事組合長 森田 正行さん



「島に休憩所」という、沖島公民館の元館長だったお父さんが経営する喫茶室と共に島の観光を支えている小川さんの民宿。島の最西端に位置する宿では、季節ごとの沖島らしい湖魚を使った料理が堪能できます。「この沖島でしか味わえない、感じるものが出来ない、大切なものがたくさんあります。その宝物を次世代に残していかなければ」と、静かに語る言葉の中には熱い思いが込められています。

こういう場所だから、残せるものがある。



感じる

沖島の民宿 小川 裕義さん

取材協力 エコツーリズム協会しが 理事・事務局長 吉見 精二 HP <http://www.ii-trip.com>

県政広報誌「滋賀プラスワン」は年6回(奇数月)の発行で、5・6月号は52万部作成し、県内に新聞折込で配布しています。県のホームページでもご覧いただけます。郵送を希望の方は点字版・音声版(CD版・テープ版)のお申し込みは県庁広報課までご連絡ください。次回の発行は7月1日の予定です。



滋賀プラスワンは左記施設に配置しています
県内の市町役場、図書館、県立施設(びわ湖ホール、琵琶湖博物館等)などの公共施設、郵便局、銀行、歯科医院、美容院、理容店、大学、JR琵琶湖線や近江鉄道などの主要駅、コンビニエンスストアなど

発見・再発見・しが

滋賀^{プラスワン}

平成25年(2013年)
5・6月号 Vol.143



この印刷物は、環境に配慮した再生紙、大豆油インキを
包含した植物油インキを使用しています。

平成25年5月1日発行 滋賀県広報課
〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
TEL 077(528)3041
FAX 077(528)4803
Eメール koho@pref.shiga.lg.jp
県ホームページ
<http://www.pref.shiga.lg.jp/>

- この冊子の経費(企画編集、印刷、折込、職員の人件費)は、1部当たり26円です。印刷経費の一部は、本紙に掲載している企業等の広告でまかっています。



今月の表紙

新緑の近江

山々が新緑に包まれ、田植えも終わる頃、春祭りが町を賑わせます。童女の鍋冠姿も愛らしい「鍋冠祭」、日野商人が贅を尽くして作った曳山が町を練る「日野祭」、百畳敷大凧が勇壮に空を舞う「大凧まつり」。爽やかな陽気の中、賑わうお祭りに出かけてみませんか。